雑集　文久壬戌三　鈴木大　共七冊

抄録　十二

和書門				
類	號	函	架	冊
和書門	三六〇五一	二二	四	三八

内閣文庫

類	號	冊	架	函
和書	三六〇五一	三八	三	一五〇函二

閣 24

内閣文庫

番號	和 36051
冊數	38 (12)
函號	150 155

史五八

綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

於京都申立候書面　　長井雅樂

先年臨時御
作ニ付 陛下識 以来遂々遠迴當今ニ至リテハ衰
徴之候 皇國ノ御事 清ノ紀ハ綾迷ニ及ハ已ニ断時
第二三百年以来 數百年ニ太平武道地ニ墜チ
武備廢弛候ニ付一旦黠夷ノ虚喝ニ驚キ輕易ニ條約を結ひ候
二相成リ候ニ付 此外ニ相成候 是以来年ニ紛擾ヲ交ヘ綱紀
候ニ付 至善ヲ盡し 此節ハ武備ヲ廢せさることを要し國體を辱
不申候様 當今ノ急務ニ相成候上
天朝 叡慮を始メ奉り下庶人ニ至ル迄精神を凝し要救し
策を出し候ハ同一致ニ相成候人心ハ面々ニ策略一途ニ相成
去ル哉ハ鎖國ニ擬を合せし或ハ航海ニ議論勿ク自然

人心之不和を生し時日を空く費し候中衰微日々ニ逐て加り
只今之形勢ニ相成候得ハ終ニ黠夷之術中ニ陥り申候儀も難計
候扨人心之不和を生候根源を尋候得ハ関東御措置御仕方ゟ
出候事ニ候
嚴為御決定も無之而和親交易之御條約有之候由ニ付
逆鱗一方ならす候　関東之御處置ハ御取組し條約御破壊も無之逆鱗
是迄御事ニ御座候　関東ニ於ては一旦外夷ニ對し御條約有之
有之候所ニ御破壊有之候ハ忽ち戦争と相成門を開き即今差支し御
国難ニ至り可申且数百年太平ニ相馴し武備を以て干城之御義
取扱も御心得無之　思召通速ニ御奉命も無之因循を顧ミ
日ニ至り判然之御事も無之斯る迫切し時節ニ相成候を断然ニ皆

を費し候ハ御傾覆ニ迫り候事ハ凡庸浅智之者ニても快ニ識
得仕候事ニ況や群才萬智之　関東ニ於て御洞見無之筋ハ
有之間敷縦令御疎漏有之候とも言路塞り候事ニも無之候ハヽ定
て忠節之者も可有之然る所前後を遁り御決定之御沙汰無之
ハ鎖国之御決定有之候ハ即今差支之御国難を生し又航海
之御決定有之候而も御傾覆之
逆鱗有之　御為内外挟ミ是迄内外ニ難題御国内之変
相成候ハ所謂離叛之事眼前之事ニ而御憂慮有之然と
無断ニ付ては御待候共ニ可有之論シく　天朝黠
夷之国事之和親を結び候儀開国以来未曾有之事ニ候ハ
假令御拝承被為在候共何分御申宥恕無之述事第一

嚴高佐伯且以協來し彼承意を尤縁為佐定メ意主ハ千餘ニて
是ハ角セ佐治情異し歴々佐ゞ二以以方ハ急し輕易ハ　佐只雜を
佐勅之趣承ニ至來合如何し佐來故
逆鱗ニ逆ハ佐最千萬ニ候令佐ゞ紀ニ　作者ニ卿
佐ゞ状急し能ハ佐ゞ柄ニ以得ハ深意し
嚴高佐佐佐怒ゞ急し今日ニ至り以て来　佐國内意議ゞ生
之ハ佐方ナと　思召ハ而已ニ出テ實ニ寛大之御心
嚴高意え達し奉甚不過之　難是佐ゞニ至於ハ萬記を顧
以此真之佐ゞ為也北意深意し
玉座佐御意く　嚴閣ニ違ヒ候其一時隊戦し謀
攘戦し下ニ縣謀佐ゞ以出之天下し以御萬全し策と

定召上下之道之我強りニ彼約條約束を以て　関東ニは
佐制由候其當今ニ至ヲ彼約條約之中ニ在ル時勢ヲ理を深
審候ゝ者ハ決て屈着せ候ハテ此當時慷慨と唱へ候嬰
之實の力物情ニ而其ニ不在以于ヲ御ハ只彼約と起らセ以懸
未其決して謀候ハ候ヲ為戦爭ニ及ぶ方以戦爭を急以
難ハ其ニ至而以時之戦ハ不少とかと在之し候ゞ不少以得ハ深謀
遠慮無し輕易ニ叢出候事ニ至し以来逆戦ゞんと欲ス者
ハ光以テ利害曲直を明ニ察し直利我ニ在て而後ニ戦へ可
所謂佛寡ゞ古今名將之専務ゞ所ニ而曲害我ニ在ゞ慎
急ハ不慎或ハ一時之無策ニ誘之過急策し戦を起し敗亡を
取りル者古來歴ゝ數を挙ニ能く候ゞ不為今　関東ニ於て

御条約未済之段　京都ニてハ一圓御不納得にし御尤ニ付
候ハ　関東ニて御国體を御勤ニ而し　境を以て假令御取紀(?)ニし
ゆえ御国内而已し御ゆえ外夷ハ勢ニ御尤実ニハ未曽有
之故ハ　皇国三万年来　御国内之御政道ハ　関
東ハ御条約ト未だ外夷へ對しいてハ御政行届ず悪皆　関
東ニてハ　條約候ハ外夷也　関東を
皇国之政事と心得候ハ最もゆえ　其政事ニ候得ハ　謂れ
有之候ハ同盟之国と心得ニて其...
為故ニ候
天朝御条約候し　勅を以て条約を破り盟ニ背キいて候以者
国五万年来之例を申立...を以て

皇国ハ嘗てニ於ても具ゟ　関東ハ武臣之...ニ而ハ外夷ハ
面目を失ひ法...し年を...し...御用ニ...
其是我ハ曲を取り彼ハ直を...し　勅策...智者し...
...ニ而且ツ彼ハ航海ニ熟し利益を以て数万里之海洋を不
見狭隘ニ数千年航海を業と他国...数ニ...
皇国之海路ニ熟し...戦争ニ...西洋ニ...役し...
...ハ...ニ而...時ハ...ハ中ニ...海洋不通し
国之...隣...ニ...自...来し外...假
ニ...以て...ハ...破し軍艦を以て朝ニハ東ニ夕
ニハ西或海濱ニ大砲を発し或ハ...し民屋を放火し或
く...引...陸...し...我ニ...

此譬ハ軍艦ニ云ク切截擬術の如ニて自を乗れ後ニいくさ
する外患策なし数百艘も僅ニ四五艘
し来艘ニ覇権をとらんとる心ハ強武ニ以て自ら誇り猶部職
之只人も吾か国を悔り来たりて決して我か為ニ奉護
者無して見ゆる事も明らかニ戦ひ統して中ニ於て海浜不通ニ
国是ハ従ニ四ノ一ニ足り四方代るニ四ノ三筋来艘し害を防
心ハ従ニ御し国ニも居テ當寛し戒を守て隣国を救ひ
猶ハ宮ある旬も其を遠国ハ甚しきハ決して我か為
京師ハ事ヲ見もし頭目ニ而相も四支し国ハ挙て保護能
ハ理し当能ニ以惜て四支病を受て頭目ハ自ら主を如此
能ハ民是ホ自然し勢ニ而是顕とし猶其実て後恒言ニ

日本ハ二三千年之久を以て隣国と交リ無之従由て起る事あれハ断ル
時ニ来る事以て　京師ノ擬議定心得有之事ニ
京師を軽蔑し帰ニ職をとらすして七百年ハ今年餘ヲ戦ひ
此ノ後為ニ感慨せさるを思ふも忘るる事ニ以当文数年
年来数度し武士を以て名策ノ争端を開き候ハヽ直別
利害三年之章も離此ならは能是ハ世害ハ我ニ生して直別
ハ後ニ甚之時勢子理を深く考して軽く外戦争を好む
事和ニ以相文強国事ハ三百年之法程ニ当国一乱以
別も我言ニ依付らるて又以ハ衆人也内也滞留差免と立
天朝治隆生し時ハ　京師鳴瞻級を建置之間
も見之由ニ以奪せり　皇国之法旧法と申さんも無し

伊勢神宮し往昔宮ニ天日ノ照臨ある所を皇化を布き給ひし
給ふ趣しとの御事の由ニ候得ハ抑も四海ハ宇内七分も天日の照
臨有之し給へる所を悉く知し召され居る事ニて須国ありとも
何れ決して神裔ニ之件人の子孫なる者上下となく二字
祖先之志我継き子をを述る様以て孝を作り以己ニ神后三韓
を征し給ひしも全く
神祖の思召を継せ給へる御事ニて蓋天之時大孝と存候
事候中古以来海外しるき明知なり故ハ三韓之外
蕃夷之国あるを審し召し給ひ候得共君し給ハ
征伐ニ及ハ云時ハ況リハ今日の如き遊戯の勢の御成ニ候て至
大ニ蕃夷の国君主を審し召し為ニ付て候得

皇威を蔑ニし奉る様須国ニ浸潤させ
皇国の威を剥く
迄んて　神慮ニ背き宮ニ障りニ萬一
神慮ニ従ひ給ふ歟申譲り候ハ従来鎖国之説を主張せし
処なく世上ニ在る者ハ彼等の当事ニ而已ニ執く守りに説ニ候得ハ
鎖国政務の攻めの勢ハ決して致詞に従ひ海岸防禦を
数ヶ鎖国行てハ鎖国之弊に兼て党束ね能迄ハ飛ハ
当時之ものと攻守之勢を論じ第一の急務と存し候　候
き致さハ　神祖の思召を継せ給ひ鎖国の
叡慮の思召登ニ　皇威海外ニ振ひ五大洲ニ宣恵く
皇国を捧け奉るとハ敝（敵カ）さむとの説国足（是カ）一旦ニ御給ひ調
と称し猶とも申し忽ちに点出し虚唱を抑ニ

皇威海外ニ振ひ候期も不遠候ニ付而も然ル処太平ニ馴
御座候　神后攻取之陳跡を踏せ候んとす是又下策ニ而
方今之時ハ急速ニ航海之術開キ渠之巣穴を探り點夷之驕
ニ乗する事を古民ニ知らしめ懸然
皇国之御武威を以五大洲を統一致候様ニ被自分
皇国之御為ニ可尽を知り却而夫にしも貢献
皇国を捧け奉らんとす　且期しも待へくを又被御攘夷
之御事是等ニ至り関東ニ而　任執いも慙愧と
御威光を御振ひ候迄此ニ首り最然ル処ニ而も何事とも
其子細ニ　関東ニて約定を破りてハ　御為ニ不相成
当時決定之御威光ニ相成不申候而も斯く致

綸命を畏しめ奉る　宸襟を安じ奉る事ハ勿論
乍恐御奉行等を以て諸藩ニ御　依頼致候而も是又此節不
御威光　御威之職を以く　有志輩を以時勢を以て
御為ニ候而も　輕率之儀奉存候　御仁徳を以而御不當ニ然
此等之事　然ル所ハ　御武威之儀ニ付而ハ御為宜と　思召候
者ハ御一致ニて　右様之儀ニ付而も御存知之上ニ
京都ニハ　関東を柔弱と被思召　関東ニハ
京都を御暴論と　厭ハせられ候故ニ　遂に隔絶し中猜
疑不和を生し　千緒萬端　因循苟且之根深く相成　一旦
之目途無之　此儘ニ被仕候ハヽ　偏ニ
皇国之御為とハ不思召　京都　関東共

疑滞丸ニ候氷解いたし速ニ急速被仰出候ハヽ武威海外ニ
振ひ御安心之候識者共ニ存候所と
叡勅 関東ニ而ハ仰出候而 関東之様ニ候而ハ将軍家ハ是迄之
御事ニ付 勅命の通ニ被為在候ハヽ到達候 台命を
以て 候得共ニ候而ハ無之ニし其上ニ付ハ国是定り 君臣之位以
天朝ニ而ハ 幕府ニ而ハ之通ニ候得共
此度之思召海内一致ニ而ハ海内一和ニ而ハ将軍職ニ而
三十年振候ニ而一新ニ
皇国ニ而ハ先ツ以歴例ニ候得共此者ニ候而
これ以断る時勢ニ一度御ツ候ヘ
神祖ニ候御宗之叶ひ万世不抜ニ善大ニ候大業と申

在りし候へ之江戸ニ而如く隠微中 然ニ候而ハ不和ニ相成
之候候而ハ候ニ而ハ 候ニ而ハ隠微ニ而遂ニ
是迄之事ニ付治し遂を失ひ遂ニ離れ 候ニ而ハ
満世ニ候し期ニ其所ニ而ハ十年之外ニ相成候
日勝ニ候ニ付時勢ニ付候 己人ニ而ハ
皇朝連綿し以地ニ而連綿ニ而両国ニ候ニ候
天恩 幕籠一身ニ候ニ而相伝ニ候候ニ候看
を映して日ニ寝食を忘れ 候国威立候
機会ニ熟候候ニ而ハ其ニ宸襟ニ候して候上ニ候国之上
策之所以ニ候ニ候之候ハ都る不策之様ニ
未だ時ニ至ニ候ハ其労を御ニ候ハ挽回し期候

之已ニ久年来両役府ニ崇ニ而天勅を奉せさるのみならす
却而禍を転し福となし候而 御ニ
天朝ニ於て僭しく矢石白刃を提し風雨雲霞
ニ沐浴仕候ハ大小となく武臣ニ甘心仕り如何にも慈愛
之事ニ而既ニ数年之尊崇不致候得ハ臨候
而惧通好る而或し時勢推移候而
皇威海外ニ輝き四夷順服仕候日ニ至り候様奉存候
右之前件之次第 関東へ申立候処ニ而
朝廷ニ於候而ハ甚以其意を失ひ候而内密小臣ニ上京
申付候而大国家之為を存し申付候ニ付和歌ニ
相書付差上申候 愚昧之儀 御採用奉希候

以忠誠之志ある人々相唱て一筆謹厚ニ覧ケ相続
累し中ニハ右件御評定被仰付候所臣等
ニ而遠御沙汰之趣ニ而一途ニ御尊奉仕候ハ俚語鄙言を
奉呈し
尊覧を穢し 威厳を冒し奉る段恐入候得共奉存候
時勢を憂候而申上候御罪名科を蒙り候共不顧
死を以遠慮を飾りなく存念之次第申上候是又一人之至誠
て御取成し下され度候 此小臣犯逆し所致
也 恐々謹言 伏地待罪
是而之旨宜しく 御取成ニ而

右

天〔illegible〕のことく之ありといへとも〔illegible〕国〔illegible〕

〔illegible〕二十年〔illegible〕六十餘〔illegible〕

神〔illegible〕一ノ信〔illegible〕

改ノことにも 神〔illegible〕

萬民之為に〔illegible〕

〔illegible〕

〔illegible〕人〔illegible〕

〔illegible〕

此〔illegible〕十二ヶ月〔illegible〕

〔illegible〕

癸丑甲寅〔illegible〕来 異人〔illegible〕

〔illegible〕

覺書〔illegible〕附

〔illegible〕

〔illegible〕

〔illegible〕

〔illegible〕

〔illegible〕

〔illegible〕

殊ニ太平ノ一毛ヲ慶シ此太平ノ[illegible]ニ生レ[illegible]

君恩ニ浴シ[illegible]身ヲ[illegible]御厚恩ヲ報シ[illegible]

可有事也[illegible]忠節ヲ尽シ[illegible]

御恩ヲ[illegible]

本領ヲ保チ[illegible]一家ヲ[illegible]

能ク[illegible]夫人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]夫人ヲ以テ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大樹様天下ニ示シ玉フ御教導被遊候ハ第一
天朝御代々様之
御陵毎々荒廃致候段ハ古来有志之者深ク歎キ候事
兼テ御修補被仰付候(地か)事ニ候
尤御修補之所置ハ若年之儘ニ而差置候テハ深ク恐入候御儀
此度御趣意御座候ニ付今般御修補被仰付ハ一日も早ク御忠節
御等之奉行被仰付候
天朝ニ御続紀之御為ニ候ハ御宜
御陵御修補之上御趣意ヲ以被遊候ハ御孝行之事ニ候ハ御忠
今上皇帝ニハ此上ヘ莫大之御孝道ニ相成候
御歯家ニハ尚以莫大之御忠節ニ相成

官武之一和ニ以テ結ヒ被成度被遊
官武御一同ニ忠孝之道ヲ御立被遊候ハ御両一般
御徳化ニ反逆報恩之御厚キ思召之忠孝ニ可被存候
可仕旨
御陵御修補ニ付テハ数百年御荒廃之儀
御奉行并御修補ニ付テハ人ハ御家筋之者ニ而御忠節ニ而
御忠孝之事尤之儀ニ候
天朝之御事遊ニ付何卒天下之人民一統難有感戴仕
御武威ヲ以テ御奉行御沙汰ニ候
御陵御修補ニ付テハ御続ヲ以テ益御尽シ被遊候ハ大幸
之事ニ而近ク御大家ニ以御修補之御儀御坐候ハ

法親王之御事ニ付大臣家柄之事ニ付取計候儀至極之様
之存候ニ付
天朝之御為之儀ニ付難有儀ニ存心得候処此度ハ右之通
御沙汰相成候ニ付而者法親王之儀ニ付取計候様
存候ニ付思召之程此段申上候
十八月　戸田越前守
別紙
法親王法親王輔ニ而　御沙汰之上ハ於其御為之儀法親王之事ニ付
令数代之　法親王を以申聞候儀ニ付右様之旨両家
之上　先達法親王之儀取計候而ハ不都合之事
御沙汰之御為之向之儀ニ付取計候様申上候
法親王之事ニ付如何ニも力を尽し一統中御沙汰を申出候也
尊敬心得忠節御補佐之事
法親王之儀ハ　村田ニ御座候ニ付自然迷惑之儀ニ付
御沙汰者従来先三條両家之者ニ而善心存寄之儀御
補佐之儀ニ付候ニ付其段寸功をも以取計
心得之儀ニ付又右両家之為ニ付右両家ニ而法親王を取
此段ニ而御沙汰之法親王之儀ニ而其段追々申候
大寺家之儀此節ニ付萬一叡慮御為之向中之難
相成候ニ付別紙之通り両家之御沙汰申上振り候
其上者又右様之儀ニ付　法親王代之者御沙汰　此節
一統之法親王之御為之面々之儀ニ付叡慮之迄御願

右様之儀ニ相成候而ハ出様之節ニ至り候而ハ
御陵御用中ニ而も早速先達仕報告之御修補手続之儀
徹忠之至 御賞美可被下
御陵御修補御用ニ付 御任被下置候ニ付一層御用筋相勤
御手当之儀数十万両之御出費ニ而御修補出来ニ相成候 猶
年々御手当を以御執行ニ相成候 御心得方可被仰付候事

戸田――

閏八月

閏八月十四日 御付札

御陵之儀ニ付 御所 御修補被 思召候ニ付 被仰
山陵御修補向御委任被仰付候 御陵ニ付 御任被仰出候ニ付
可被申候

取扱其外之者ニ御用向申談候様
取計候ハヽ以来御用弁ニも相成可申候 御陵

戸田――、

戸田――

右ニ付

山陵御修補向之儀 御用ニ付 御委任ニ付而ハ以来御修補中之
度ニ而御見込之通 御任セ被成下候ニ付 来ル亥年之義ニ為仕度
之儀ニ付 御取扱ニ付 掛ニ而請取候之
入用金之儀ハ追々御下ケ被成下候 御入用高 可相伺候

以上

戸田――

一書付

戸田―― 忠至
御渡相成候

今般
山陵御修補之儀ニ付而者、御代々様山陵之儀
手厚ニ被為在候得共、中古以来御修補
不相成候ニ付、追々及荒廃候ニ付、御修補
之儀被仰出候、依之御修補方申付候ニ付而者
山陵之儀ハ重キ事ニ而、御取調等
厚ク取計可申旨被仰付候事

芳賀言上書
先年以来御国体之儀ニ付而者天下之形勢
御一新ニ相成候得共、氏族之風俗及浮薄
天朝ノ御威光モ相立不申候
忠孝之道ニ至而者万民之心得ニ而
ニ御座候、然ル処当今之時勢ニ相成候
故ニ而者、能々御勘考被遊候
御主意之筋ニ而者
天下之御為ニ御座候
中ニ於而者一同之御為ニ御座候
以之一時之儀ニ而、天下四民一同融通

去ル頃薩藩平野次郎暴悪之状ニ関係有之候處因循
荷且ニ法外之所業ニ至リ候段不大形仕儀ニ御座候
要路御役々
禁庭ハ勿論ニ於ても深く御心痛
叡慮ニ付諸大名拝謁之上差急候 御付候而 急度
より兼而御親兵之者近習御用方其外諸役之 押込
御ニ付座席更ニ御評議ニ而同志之者共悉く取調候
ハヽ其儀ハ如何様ニも可致旨其使節ニ而可被仰付
禁庭之御中ニ者如何様共御沙汰可有之旨
輔弼之職ニ而ハ其御趣意可被仰付候處其調之上使節ハ法度ニ於
御前ニ而周旋之事 運可被為在候様所存

而ニ而已法不立ニ而ハ御国之御威光も不相立候間迅速ニ法度被為立候
可然
天意法何ニ付使節を以差上調印之儀ハ猶更如何之儀ハ
法道
勅命ニ而被為行候得共法度ニ而ハ是等之儀ハ中止ニ可相成候間速
御沙汰ニ付尾張中納言殿水戸中納言殿 御呼寄ニ而御用之旨も被仰付
被為遊候儀ニ而ハ過激切迫之勢ニ付諸侯ニ而御何卒御聞済
ニ至り候而ハ猶更ニ而御挙可被為有之事ニ付此上ハ御降伏被為在候
柄ニ而ハ申上候得共 天意之事
天朝之趣意之次第ニ而ハ委細御請申上候ニ付一旦而
評議之上可相成候得共何分ニも此度ハ一同尽力致し候而ハ御制ニ
ニ付而ハ御憂慮御安堵被為在候処迄之段被為奉存候

此内夷人交易ヲ始候テヨリ僅ニ一ツ　其弊追々相募ニ相成
不足之物価追々騰貴ニ相成候間関東ハ勿論天下ニ蔓延致シ
人気悪シク相成テ蛇蝎ノ如ク思ヒ上ハ自
朝廷下至士庶人一統困窮シテ　華夷雑居ニ相成候
侍ニ至ル迄憎ミ候テ夷人ヲ[illegible]　其節人心恐懼仕候
様ニ相成候者共[illegible]頻ニ御座候得共[illegible]相成候得共[illegible]
神国ノ[illegible]ニ申立ニ付[illegible]ヲ[illegible]テハ[illegible]相成候間[illegible]
尊攘ノ説ヲ唱ヘ候者共[illegible]化通[illegible]相成候[illegible]
様子[illegible]御座候[illegible]ヲ[illegible]人館ニ[illegible]相成候[illegible]
ニ者共大息仕候[illegible]ハ御所[illegible]暴[illegible]夷狄[illegible]
ヲ[illegible]候[illegible]候[illegible]早速[illegible]ニ相成[illegible]

[illegible]士卒ヲ[illegible]夷人
ヲ[illegible]等[illegible]士[illegible]
数多[illegible]夷狄何[illegible]難題[illegible]
物[illegible]應接[illegible]候[illegible]ニ[illegible]夷人
[illegible]此[illegible]精[illegible]候[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]
断[illegible]御[illegible]此[illegible]候[illegible]人心[illegible]
[illegible]疑惑[illegible]ニテハ[illegible]禍[illegible]蕭墻[illegible]
[illegible]武[illegible]御内[illegible]ニ相成[illegible]
[illegible]候[illegible]ニ[illegible]
[illegible]對
天朝[illegible]候[illegible]何之

前く御貴剣し給ふ古より仲ニ宛如日月之合 御政道
登山する天下ハ御示し之通り政事ハ関東ニ御任之御事ニ候
に御座候處当節柄ニ付何分御安心難被為在候
極光らるゝ故天下万機之事ハ御委任ニ而も外匹夫迄も御安心
第一ハ御蒼生之為ニ御自身御憂慮ニ而御譲位も
被為遊候而ハ御国ニ而も御運御衰微之御儀ニ候得共
当御代ハ御御趣意御尤ニ候得とも御承知被為在候上ハ
中々以御一決
禁廷ニ而御深宮御奉ハ外様御細之中御沙汰ハ数々被
下置候御事ニ候
皇妹御縁組之儀御取計之事ニ而御為ニ任御沙汰

御之ハ返しては御前御様被為在 此段御政道一同様於御座候
大樹公御方様ニ御進御座候
皇妹御縁組之御儀ハ未タ古来之御主意ニ無之候而も御承知之
御事ニ御沙汰之御座候而ハ御叡慮
宸襟を御悩之中御沙汰春秋二季ニハ行幸ニ相成候
御内々御願之上御聴御座候儀ニ付 御沙汰中古以来
絶してなき儀ニ候ハ此節御取計難被為在候
将軍家御縁組之儀ハ御治定之上 御決心御座候
古来之御縁組御治定之上ハ夫々為御国御安泰之
御為御縁組之一同御国御安心ニ被為在候御取計も
公武御合体之御内一致 御安堵之御儀御座候

事ニ夫故法寺拝見之御実大臣等之法度輝事如此申出候
候而沼
天意ニ叶ひ万民安堵之化実ニ　神州之法輝業
小忘可背旨是申行之者也其外来候者ニ睦敷候
云々走候者ニ情誼候而之事ニ相成申候　数年来ニ致
中ニ而和睦之遠慮之白威ニ法行候之一法候用ニ付
候得ハ而候者ニ懐之至ニ存候
　亥月廿日

　西丸浪人ヨリ伐家ニ送る
徽織共識之私見御家之大事を奉御ニ相成候申上候
蒲生ニ以て至急御陳情申上候国家を危ふく可被成候
仕候義以て申上候其義ニ存し候罷在候顧意言上仕
抑去申年十二月御年始御用向并法川之出帆候中山大納
言始四中河内し動ニ付中将忠宗朝臣之者誠ニ奉
一井書類共ニ依而相条松村大炊毛之銭中出候其ニ発
丑甲寅ニ而来幕府之役人共苟安姑息之情を以畏く
去迄者　勅諚国家之大義を失ひ以而実躰
皇国之御眼晩傲慢共私欲之侵奪共顕然ニ不及
以深く之相悩　叡慮ニ至り不容易儀ニ立至候

此節御依頼之趣承知仕候處去二日御書面拝見仕候奉恐悦候
鳳輦御発輦之儀被仰出候ニ付此度御所表江諸藩之者共罷出
薩州長州等之諸国より諸國之
御家来共多人数罷出居候得共所々在留仕候而御用向相勤候処
も有之候由ニ而一同之者共方々ニ而盛ニ相聞へ申候
謹而奉願候ニ付此段御届申上候甚不穏事共有之候由ニ而
恐懼之至ニ奉存候何卒御沙汰之程奉願上候
右之趣御承知之上急度御取計可被成候様奉願上候
御指図之程奉願上候而可然御座候
之段御沙汰之趣被仰出候節者何分宜敷奉願候
所々罷出候者共之處存寄之儀も御座候
尚又此節御内々江戸表之諸藩之動静何分不穏相成候
由ニ付此段申上候得共御差図次第ニ而御座候
并ニ草莽之輩大異論有之候ニ付御沙汰之程
薩州長州土州等之處ニ而可然候得共
家来共罷出候處御尋之上御取計可被成候
鎌倉表之儀ハ新八郎之処ニ而及御沙汰候
之処右之通御沙汰之儀御座候ニ付京都表
御出立之処御差図之通ニ而御座候
此段御届申上候處御承知之上可被成候
花押之処御沙汰之趣薩藩へも申遣候
之者共之儀薩藩へ相達候様御沙汰之儀奉願上候

千代万歳ニ挿頭ニ逢之第ノ安穏ヲ祝候有之分危
乎周乎京右仙台何乎罷在候義ニ義兵之[illegible]得分ニ
候處其後勤役ニ御除条々[illegible]候ハ[illegible]中[illegible]ニ而[illegible]
薩長ニ三藩之挿頭ニ奉存候[illegible]大臣有志之者
ニ而[illegible]其後申上事を[illegible]不[illegible]ニ至て[illegible]
ニ而候ニ付挿頭之志有之[illegible]讃之[illegible]懐[illegible]宜[illegible]
[illegible]事之人御[illegible]聞候[illegible]國[illegible]
[illegible]仕候中[illegible]候[illegible]を[illegible]
[illegible]墻塁[illegible]以[illegible]以[illegible]と[illegible]
[illegible]
[illegible]東西ニ奔走仕[illegible]候所以[illegible]

[illegible]此[illegible]ハ深[illegible]謀[illegible]
[illegible]偏[illegible]名[illegible]薩
[illegible]
[illegible]謀
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]慨嘆[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

被為在候處　勅意ニ悖リ朝廷ヲ奉蔑ニシ當藩己
之忠謹ヲ盡シ候ニ付而ハ辞令ヲ蒙リ身一
了簡之忠義ト申ハ遠慮ヲ顧ス以テ四方ヲ敵
國ニ受ケ候ヲ如何ノ所為ト可申哉私ニ擅ニ兵ヲ
動カシ奉背御趣意此義ハ猶更如何之國家ヲ以
亡絶ニ至ラシメ候ヘハ此藩ハ是非モ無ク四方ノ敵
ヲ引受ケ候テ獨立シ此ノ蒙昧如何ノ有ルヘキ哉此藩名
義ニ於テ此ノ蒙昧ニ候ヘハ此國家ノ安危ニ拘リ實ニ
臣子情願ヲ以テ國ヲ弱クシ時ヲ失シ候ハ得ト此藩ノ義
有之論議ノ趣意承知仕候ハ列藩ノ諸侯ノ内ニモ可有之
幕府ニ於テモ容易ニ仕リ難キ事ニ候間御當家ニモ旧来ノ諸藩ヲ

於テハ諸外國ト強要候ニ付因循ニ流レ候事ハ自然ニ相得
第一ヲ背キ候而　勅意ヲ以テ更ニ相立候義理
之儀而已申立御当家之儀ハ遅疑ニ相成候而者実以
不可然恩澤ヲ蒙リ候而ハ其任ヲ尽サ候大義之所得ニ相
之儀ハ宜敷所ヲ尽シ寛恩霽候之ハ元来幕府二百年
餘之御厚恩ヲ以テ萬一之事ニ候ハヽ事之不容易之事
筆幕府　了簡ニ而猶更之所致奉存事件ニ付テハ
之者ハ段々近頃之御取扱ニ付奉遵國ノ然者至極ニ御座
之ニ於テ候得共　叡慮
了簡ノ親大義ヲ立テ候ニ相成候ヘハ雨ニ付テハ近
被下候テハ職業之所詮邦代ニ於テ候而已相至都合ニ相立

其余の男女老幼に至る迄も勢を揃へ勤学仕候ハヽ尚以
之義ニ付而ハ右之次第ニ候得共此度ニ至り我等ニ於ても勤王
之志無之ものハ幕府之臣民たりとも此名分之義を弁へ兼候上ハ十分奉
息　宸襟下ハ天下生霊無恙恭順いたし其を救ひ候ハ
ん為にも至恩の尊き事を弁へ勢に〆世を列藩勤王の
事に候得共徒らに服従にいたり候事ハ政府の中に奉〆実に
尚難儀し　勅命を下され天下に従ひ乍義兵を揃へ
中ハ所々に蜂起の誤を仕候事にいたし征夷府之御免に於て
勤王ハ列藩一同譲り並ニ幕府今ハ一人たるの義を御従免
之所ニ至る事成る無事之処何之由国民に於て天下之人民ニ而
於て有之不申哉論候処偵察被仰付候得者

皇國之大任を奉存候得共前条之通り愚昧之俗人
臣民之名分に於て行届難く候得共不足ニ存候
未だ何事も尚幕府之幕府を存て臣民と唱へ
ハ其しか幕府諸藩之如き任之間敷
不細合叙任なしに於ても何ぞ臣民にありて其義ハ所
自ら有之様幕府之権忠を棟梁と唱へ幕府を
朝廷ハ父母幕府列藩ハ兄弟親族にて古今之大義を
臣民を父母之如くに奉仕候所謂忠孝之道
之臣僕之父母を以て父母の為に尽し候ハ所謂親子
二男三男なと臣僕之所為を以て兄弟之事を尽し
父母を尊重し候ハ其優劣を論し候ハ其

又其身分を擲ちての主君に仕へて身命を拋つ臣僕一
を斬殺して兄父母の急を救ひ或は其家の[illegible]
如き為し主命を奉して[illegible]父母(子)の国を[illegible]之
[illegible]を失ひ而して[illegible]の第一に[illegible]
務ありて[illegible]臣節を守る事に[illegible]力をなし[illegible]
臣僕或は主君の命を受て其事を[illegible]其身を殺して[illegible]
其君の為に[illegible]父母伯叔に[illegible]數を[illegible]
嚴法を守りて[illegible]臣僕の[illegible]保護
[illegible]一家の内にして[illegible]事を[illegible]
人に仕へ身を[illegible]義を[illegible]
主領を以て其意を[illegible]して幕府の[illegible]付[illegible]

主の内にして[illegible]臣僕を[illegible]
其職を行ひ[illegible]民の悪弊を[illegible]
主君の[illegible]
[illegible]是一定し[illegible]を建て[illegible]奉[illegible]
而して臣民幕府の報恩の[illegible]一
綱紀を[illegible]
[illegible]報恩[illegible]
[illegible]報恩[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

此是ハ以前ヨリ宗昇早ク以當家ヘ出入ス[illegible]
筆者ニテ古人ノ議此書[illegible]追陣[illegible]
[illegible]報恩[illegible]出典[illegible]一二三[illegible]
[illegible]報[illegible]輪[illegible]踊[illegible]諫
國家[illegible]保[illegible]古[illegible]辛[illegible]
[illegible]情[illegible]下[illegible]達[illegible]華[illegible]遂[illegible]
[illegible]大事[illegible]經[illegible]偽[illegible]
[illegible]遂[illegible]性[illegible]庭建
[illegible]所[illegible]諫[illegible]諫[illegible]罷[illegible]

魚住源兵衛
宮部[illegible]花押

長[illegible]三年
東　武兵衛
松村　大成

右壱冊人[illegible]書[illegible]代[illegible]
[illegible]写之

加州侯書翰之写

尊翰之[illegible]承知　然者　上意之[illegible]
我等ニ[illegible]申付[illegible]相心得[illegible]
当節之[illegible]　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]一際忠勤[illegible]
[illegible]一統武士之[illegible]
[illegible]
[illegible]世間[illegible]
[illegible]

之儀ニ付テハ諸臣堅相心得、今ニ至リ兼而抱事務不案内之事ニ付中止之
為御下向中止之事評定ニ付テハ相談致し候ニ付候
之由各々可有御了承候

六月

一近年世上之形勢不穏趣ニ相成候ニ付而ハ
天朝ニ於テモ　公邊之御間ニ於テモ種々之風説
等有之、方今外夷　皇国を侮り、猥ニ横行
内紀を醸候儀之義有之、此而巳大患之世
中ニ付　公邊ニ於テも従来御鴻恩ニ報ゆる為ニ
在之ニ付、御国家之御為筋ニ而も
公武ニ於テ御倚頼之趣ニ於テ遊ばされ度思召
合候御下國之上御沙汰之趣も相成右
之事ニ就而も右之趣意を奉敬承人心一致
致御備之儀ニ而以兵を論ずる節ニ

種々之浮説等ヲ唱候而者人氣ニも拘
候ニ而不容易事ニ付他藩者勿論御家中
應酬之間ニも深心を用輕卒之取計
等不致様組支配ニも精々可被示置
候事 上

四月

七月六日一橋刑部卿殿御浮見ニ御
付右殿御縁組ニ付右御縁組之事
家老御用人并御近習ニ御直書ニ而被仰出候
一此度京都上意之趣ニ被仰出候ニ付
至極御修行之儀深く厚心得学問等心懸専要ニ候
第一ハ文武と長壽ニ而右此橋此上ゟ締
方大切ニ有之此儀中側廻之者第一者
大切之義側廻之者之謹好キ者則此方
ニ謹好キ義側廻之者之不謹者則此方
し不謹ニ當ル事ニ而當今世上之者深
用心候付此悪ハ両常側廻之者治而不好
ニ有之候若キ者此稽古修業ニ勝是等ニ精を
散シ候ニ付第一遊山等致シ心出来候之第有
之候得ハ不宜畢竟是等之謹方好く
取締方宜敷様可致 上意も出来候

義と深ク歎存候從此上之處專ニ心得
家老用人共始他ニ者も謹解義
事ヲ下ニ至り候篤と相心得測廻し者
共ニも不慶立候様ニ相心當候ハ存候
事

同月八日御家中一統ニ於御出之御自筆写

一 此度一橋家再相續被仰渡之ニ付
御出身之儀ハ於御家中ニ茂有之ニ而御存之し
義奉存御内意ニ御振合辞退奉申
上候所何分御許入無之無餘儀御請之
度文御請候趣御様御相候ニ付相認

此上者上下一統無之天下之御為御不為
と心得候事も有之候而不可存候事ニ無之
意存可有之ニ付可致甚無之事ニ存而も家老国
人共心得方ニ而大切之事ニ存し候河之方
役人より内秘密ニ而相秘候取込候条ハも存し當
是而相秘ニ而相心得必定ニ而當家ニ而且廻
公邊ニ秘ニ而立無餘義秘込候筆状ニも有
之とも右ハ立身等之秘込候とハ事語りニ而
然而之然事ニ而相得共右従右従し義も
長キ日ニ者遂ニ而不召し秘可候様有之きとも

のニ候得共能々ニ而心得事ニ候然し於
節々相考候を察り候知候時ハ当人ハ勿
御法中迄も無之同勤之者も不念ニ相成
役共ニ（傍注：役人ニ心得候）力を合せ天下之御為ニ忠勤
致し難有余を蒙候共当又
天朝以遠慮を蒙心得方下ニ而も不心得
事ニ候得ハ益々驕心発候事増長
情ニ付心得共右候し益皆し其而も聖書
天朝以遠慮召入候而其心得共此上此方ニ
言行ニ而驕り等之事有之而其是勝脱

事ニ而其花不尽し益々ニ而念し候食面ハ
其ニし者へ面ニ他ニ而為し是ニ而万端
丁寧ニ致し質素而倹奢々等之事御無し
ニ而致候又其此方他出し而も老人知り
之其株と諸生来少し無礼々等之事有
し候とも能候ニ割ニ而筆大ニ厭ニ而
十分花光知り者ニ無し其々も為田
武其為争様し候と足実ハ是又不見
割し規矩を不崩候人々雑義を修候能ニ
心得ニ而候杂し為心得同人其衆へし

寄之以自筆十通之事

七月
八月

被為請候由威光院ニ以来者御代〻多候
以武運長久之為御年迷ニ付而宥之候以之也
内和順以然威海ニ而二輝候者　依而即至其候
以右仕候披觀之四罷を不歡歡了之中ニ而天下泰平之微
志ニ而候経之深重之此間悉以　御文　此御文ニ而感
叡徽志候得不如止於宰師　壹之は方之者致之旨
候間之中ニ而天下　此外ニ而之遂　天聴今般私義上
京ニ付此段者可為其由此察ニ付　御下賓
加之趣候而其段僚之御文論者此外不如止弟
以今私武御様之身分として其其清
天聴之為ニ而以其段迄之候　候目就列蔵所　之奉

し志士并及天下之公論とも相見へ候ニ付ハ　公武之御和熟
専一　朝廷ニ而ハ王者振興之道思召候得共
以而上古之御体相成候而ハ識者之所及ニ而は小家之
とも御座候　天聴御達　神州之御体裁ハ御座候　天徳
当時幕府を建候而其列藩以下至迄専ら
之候ハ二千年ニ而其実ハ論之皇道を幕府を軽蔑
候事末開　従来武家ニ而御座候　幕府之武威且甚而
ハ列藩各　朝廷を戴き　勅命を奉し
幕府を要し御政務之御施政を譲り候し　海内
列侯天下之公論之御取計之御所と可相守候を
相守　従来威勢及衰弱　下而以御撰将軍ニ而威
相伝

上　朝廷を以御裁下列藩以下を御法度天下
之公論を以御施政ニ而　叡慮従道奉
御聴候而其御為御取計ニ而御座候
奉し候ニ付　今般　公方様以上洛　御治動し
其之御体列藩御参勤条ニ而　御本時相改　天下
を以而御決之候而　皇国之御為国之御開相改
相成ニ付御施政御列藩建白し御叡慮被為
叡慮ニ従候　勅諚　公命を以　従来
以確定し候列藩之御施政を以　衆心和服　従来威
要因之之撰選之御座候得共　相成候
第一　諸条以新中ニ而　御裁ニ而武威確定し候

遠有之志願し候ニ付　御役　台命を蒙り候儀ニ付
前後無余儀被[illegible]　何卒[illegible]中[illegible]早々[illegible]
此度[illegible]得[illegible]上[illegible]　何分[illegible]私
至急上京仕　[illegible]
宜敷[illegible]
神州[illegible]此[illegible]
国[illegible]　何卒[illegible]
以[illegible]

文久二年戌十月

右長行再建之

米利堅新聞紙

一千八百六十二年第三月廿二日紐育鏤行

手塚律蔵　譯
手塚節蔵　校

蒸気砲船「モニトル」砲船の名の事を記せる條

今爰に顕す所の者ハエリクソン人名氏の発明せる蒸気砲船にて此船現に接戦に赴くの前はブルークレーン地名の海軍局に在ける時を以て亜国の匠工一見して木板に鏤め其後戦闘に用ひたりしに勝る大功ありといふて余曹が獨に著せる新聞紙の第三百廿一葉に此砲船の事を示したれど今又爰に其長短の尺度を顕すへし此

船の中層は底面平垣にして舳艫尖り側面は直立し其深サ五「ヒート」餘其長サ百七十四「ヒート」其廣サ四十一「ヒート」あり中層の底面の中部に其長サ百廿四「ヒート」其廣サ廿四「ヒート」の大孔を穿ち以て下層と相通せり而して下層の深サは七「ヒート」と六「ヒート」にして稍く斜に曲り相接合せり下層は鉄製にして其厚サ半「インチ」あり上部は鉄板と木材とを以て堅牢に之を作り其傍面は厚サ廿「インチ」の「コーヒ」と称する木にて製し其上に厚サ一「インチ」の鉄板を重ね六「インチ」に至らしむるなり○水夫等は中層の艫の下に在りて容易に弾丸を受るの患を免る此船の新奇と称せる所は上層に在る大譙を以是れ全く自在に旋轉して其中に大

砲を備ふ而して此大譙は一「インチ」の鉄板を幾層に疊みて八「インチ」に至らしむ其内面の横径は廿「ヒート」にして其高サ九「ヒート」あり之を船上に載するは其上層の板を深く切り込み金属を混して作りたる平圓の鐶を挟み其中央に軸を立て以て之を保持し又軸の下端に純鉄の棒を設け譙を上下するに便にす又軸に歯車を設け小なる蒸氣器械に連接し以て大譙を輪轉せしむるなり此船に口径十一寸の砲二門を譙内の基に備へ狙撃手之處を悪し且砲体の後退に便ならしめんが為に馬蝗釘を以て之を臺上に固定せり大譙の周圍には四箇の穴を穿ちて之に望遠鏡を備ふ而して其穴の外面に庇廡を設け自在に

日光を引くに便にし望遠鏡の中心と砲口の中心とは正しく相並行して尚其中心の線を長く引く時は恰も蜘蛛の糸の十字に織りなせるが如くにて将官は艦内に在て常に其眼を望遠鏡に注ぎ其片手を以て蒸気器械の事を領して狙撃手たらんとする處に其大砲を放さしむるなり又一箇の度数を計るものを備へ大砲の度数を定め以て仔細に敵兵を照準せしむるなるべし

大礁の弾丸を放つにつき砲眼(ヤザマ)ある面は他の面よりも三「インチ」厚くしあれども其敵兵に向ふ面は十一「インチ」に至るべし斯く厚く鉄にて作りたるものなれは大丸にても之を貫通する者は更に非ざりしとなり

余等此(サカ)船を内外より能く検査(ゲンミ)し船中の形状をも写し取て十分製造の奥秘を探らんと望みしかと政府より未だ之を世に公にせる事を許されざれは余等幸に幸ふして竊に之を窺ふ事を得たり亦が西國の人民数千名は日夜荒野に出て身命をも塵芥(チリアクタ)よりも軽んじ戦闘に苦労せり又数百人は心臓の水血を流して衆人の苦難を救ひしけり余等が如きは常に家に安坐して軍事に関する事をば嘗て一つも為さざりけり雖(サレド)若し速に戦闘の止む時に至らは余等の如きも大譙の内部に至ることを悉く之を熟覧して公行し得るなるべし今こ度に図せるはの砲船は實に海軍に於て預め設け置かるる者なり既

に戦闘に臨まんとする時に至ては大譙を覆ふ所の帷幔を
卸し方面ある煙窓及ひ船中に空気を通ずる稍く短き
方管をも取り去り使舵手は船後の小譙にありて常に
其舵を使役す而して此小譙は九インチより十二インチの
鉄柱を用て之を構へ其隅に於て固定せり
始めて鉄板を以て大譙を作りし時にも衆人皆以為らく其
内に在る砲手其激動に堪ざるべしと嘗て英国にて之を作
り試みし事ありしに其大譙の周囲を全く密に閉る
時は実に激動に堪へ得る者なし又其上に十分の穴を穿
ちても亦能く之に堪る者あるを看ず然るに此回の戦闘は
エリソツン氏発明の砲船を用ゐるに始って我か海軍局にて

之を用ひ得べき事を擬査しけるに亜国にて此砲船を
作りて後大譙の上下の激動を識んが為に百零八封度の砲を
放ちけりしに敢て患害ある事なし加比丹エヘリソン氏の説
に拠れは能く砲の効を試むるには唯一人にして足る又
某氏の説にても砲を放ちけりし時大譙の内に在て其
鉄壁に手を当て試みれど絶て激動を覚えず且大譙の下室
に在る人は上部を通ずる鉄窓を密閉すれは砲を放つと
雖も亦其激動に感ぜずといへり

海軍及ひ陸軍の新説○賊兵敗績の條
官軍乃兵勢大に盛に攻め来りければ賊軍之が為に大に辟
易しアルカンサスの西北の一隅よりヒルジニヤの東方に走るに敗

遣せり郷尚に西部のコロムビユスといへる堡砦の陥りし報告を
得て後今又賊軍の久しく在住して屡我が部城を擾
乱したる堡城「マナサス」の落さる報告を聞き次て後アルカンサス
の激戦及ひ水戦の捷音を報し来り此水戦并は賊
軍より出せる数十隻の大艦官軍の小なる砲塁の為
に一拳にして虀粉となりぬ此時海濱には官軍の兵士
新に一営を構へ官府の権を復せんとて出師したりしか

ヘルナンジジ及ひシントマレーを掠略せし條

第三月二日我が水軍提督ジュポント氏アメリア嶋とフロリダの
東岸との間に通せる海峡に出船し賊兵と接戦して嶋
内のヘルナンジナといへる街房を攻め取り其機に乗し又嶋内
の北方に在るシリンテと称する一塁を奪ひ其墻上に官軍の旗
を掲たり此塁は賊軍兵を配せるの初奪掠せし所なるを其
後官軍の所轄となりたるを以て厚く修築して営と之
を築設せりジュポント氏敢て兵力を労する事なく又シント
マレーの街坊をも奪ひ得たり又同氏より書簡を送りて
シントシモンスの城をとり重砲を以て攻たりしが降参の約諾
を定め且ジヨルジアの海岸も悉く其麾下に降れりといふ

アルサスに於て大捷を得たる條

此回ノ戦闘数千回なりしかれとも就裡其激戦と称する者はア
ルカンサスの北西に在る一隅ベーリンの原野に於て戦ひたるを
其最一とす此時合衆国の兵はゼ子ラルキュルチス之を領し又

賊軍はハンドルン氏二万五千の兵を率ひて相戦ひたり
此役には両軍三日経て間絶(カンセツ)なく相戦ひ賊軍益々進ムノ
形勢あり此時有名なる賊将ベンムキュルロチ氏戦死し遂に
敗軍となりけれハ官軍の騎兵ハ名ある賊将ハンドルンを虜せ之
より乱兵の中に交り追撃(ツイゲキ)し了り○ゼ子ラルキュルチス氏公
書を寄て云く第三月廿六日即チ木曜日に我が将セ子ラルシゼ
ル氏の率ゐる所の軍隊賊兵の為に其右翼(ウヨク)を襲はれた
りしが此時シゼル氏務めて賊兵を防ぎ遂に之を退散せし
めたり○セ子ラルキュルチス氏夜間(ヤチウ)に其陣営を他に転(ウツ)し其
明朝復戦ひ遂に終日相戦ひたり是に於てチュルチス氏賊
兵の往来すべき道路に悉く兵を備へ置れは三日を経て

又戦闘を始むも然れ共賊兵此戦ニ利あらずして遁逃れ去ん
として樹木密ニ林立せる深き険道(ケハシキミチ)ニ陥り辛ふして免るゝ
事を得たり

マナサス落城の事

又マナサスの落城を陸戦の最ニ明著なる者と云ふ第三月十
一日ニーウイールレシーの義兵此高丘なる都城マケサスに打チ
入りて戦功を得たり今之を考ふるに此砦は二三週を経し
なるべし落城後城内に砲数の残れるを看ず唯数千の
瓦宇なるを看しのみ賊兵の住所は粗(アラ)なる木材を以て
作り十一万人を容るべし今此地の陥りしはホトマタの砲墩破
れしに由るなり此砲墩に素久しく諸聖東(ワシントン)の所轄なり

○マナサスニ籠城せる賊将等以為らく其同僚の我がボルンサイゲ氏及び自餘（ソノホカ）の他将に降り却て賊軍を伐つ事あらんと是に於て大に勇気を挫（クジ）き恐怖せる事なりと雖彼の太軍の點（原ノママ）して兵を出さゞりしは実に解せざる所なり而して又今セ子ラルメクレルラン氏大軍を率ひ其遁れ去りたる敵兵を尾撃（ヲイウチ）して彼等を敗北せしめざりしハ実に遺憾とする所なりしなれや賊軍既に敗走して悉く退散し国中実に喜悦に堪ざると雖彼尚軽蔑すべからざれは其故は今若し名将ありて彼に左祖（カセイ）する事あるに至ては彼れ復其勇気を奮ふべけれは又振れ起ち彼等の再興を謀るは猶大患ある病者の死前に呼吸（イキ）するが如く久しかる

すして自ら斃るへし

賊兵の鉄板蒸気砲艦「メルリマカ」船名の事を記す

此鉄板を以て作れる蒸気砲艦「メルリマカ」は既に前編の新聞紙第三百四葉に載るか如く土曜日の夜大に我か数十隻の軍艦の為に破られたり此砲艦は既に前編に示したれと今此編を著せし所の大主意亦此事に関かれは再ひ此図画を挙けて示せるあり而して此図は此船を作るに当て鉄板を製したる鉄工某氏より得る所にして大砲四十門を備へ三千二百噸の物貨を積む螺線（子ジレカケノ）製「フリゲート」船なり此「メルリマカ」船ハ素ト我が第一等の軍艦なりしに賊兵より海軍局コスホルト（海軍局の所在）を襲奪せんと謀りあれは我兵之を防かんとて大に

ひし時此船賊兵の為に其一艘を焼れ遂に海中に沈没、
せしを後賊兵危るの工夫を謀し海中より之を引揚げ
修覆して鉄板を張たり斯て賊兵此船を用ひ近く接し
我が重砲兵を防ぐに当て大に戦功を得たり此船を作る
匠工は十一寸の大砲数門及ひ「アルムストロン」といへる百封度二門を
備ふといへり按るに匠工の此船に「アルムストロニ」砲を備へたりとい
へるは甚だ誤なり此砲は北船悉く英国の製造なるに亜米
利国にて発明せる砲を載つべきの理なし　又同氏の説に此
船はすべて首尾に剛鉄にて製し尖りたる大鎗の如き者を付
りて敵船に觸れは能く其傍部を貫き穿つといへり
此説も実に右説にして「キュムブルランド」と称する船も既に之が
為に其船腹を破られて海底に沈没したり○我亜国の匠
工の作りたる「モントル」船の未だ「ヨモンルト」の塲に赴かざりし時
模写し置たる図を「メリマカ」と倶を図し両船の相戦ひて
我が船「モントル」の大鎗の為に破られし事は又他編に悉
以示すべし

一[illegible]

[illegible]

一先月二月十二日附ニテ阿刺伯亜（アラビア）ノ内阿丹（アダン）（紅海入口右側）ヨリ千塚律[illegible]

[illegible]同月二十日（江戸[illegible]ヨリ六十日目）地中海ト

紅海トノ界ナル「シエス」ニ[illegible]翌日「ヨーデン」船ヲ離レ上陸ス此辺紅海ノ

入口ヨリ土地甚悪シク草木一切生セス赤色ノ石礁ノミニシテ且呑水ニ乏シク亜

弗利加洲ニ隣リニテ土脉殆相同シク天下ノ下国ナルベシ是之地ヨリ火輪車

ニテ「カイロ」（地名都城ノ名ナリ）ニ到ル此地古昔「エヂイプト」国ノ歴山王ノ旧都ニシテ乃今

人口五十万斗リ甚繁華ノ地ナリ且田園多ク獣類ヲ多ク畜ヒ農耕

盛ナリ但シ「シエス」港ヨリ此ニ到ル百里間広濶ノ砂漠連リ砂山瞬間ニ

生ス此中鉄路ヲ設電信機ヲ通ス駱駝ヲ多ク畜ス廿四日追[illegible]同日。

午後又火車ヲ採リテ暮六時過地中海港「アレキサンドル」地名及ビ港名ニ入リ即時
ニ英ノ迎船「ヘメリア」船名此船長三百七十五フート壱丁二間半巾八間余蒸気七
百五十馬力積載三千五百頓人員二百二十員大砲六挺三斤ノモノ此
船ハ真ノ軍船ニアラズ諸方ノ属地ヘ兵卒ヲ乗セ送ル船ナリ故ニ二
千人ヲ載スベシ装船甚ダ美麗ヲ極ム二十五日出帆「アレキサンドル」ヨリ出帆ナリ同廿七日地中海
「マルタ嶋」ニ着此嶋ハ英国所領地中海咽喉ノ地ナリ八九十年前佛ヨリ奪
フト云長サ英ノ二十里巾九里半人口十二万斗戍兵七千四沿ノ海絶壁真ノ
天険加之環繞壁ヲ造リ砲臺ヲ設ケ内部ニ数所之堡塞アリ「ギブラルタル」ニ殆
ント劣ラサル要害ナリ此城内ニテ始メテ「アルムストロンクス」「カノン」ヲ見タリ元
込筋入ノ大砲ナリ遠大ノ距離ニ弾至ルト云フ三月二日午時斗「マルタ」出帆
メ佛蘭西ノ南港「マルセイル」港ニ向フ此海路「サルジニヤ国」及「コルシカ」嶋ノ外

ヲ周リ佛ニ至ル今度英船使節ヲ迎ヘ英国ニ到ルヘキニ佛国ヘ先キニ行
クヿニナリ此間ニ種々談判アリ「新聞」ニ云フ「サルジニヤ国」王ノ伯父ゼ子ラールガ
リハルヂー」ト云フモノ欧羅巴ニテ当時「ナポレヲン」以来ノ英雄ナリ去々年兵
ヲ起メシシリ島ヲ併セ伊太里亜ヲ襲ヒ英名ヲ鳴動シ聞クニ近頃功成名
遂ケテ「ワシントン」ノ跡ヲ逐フテノ身ヲ退クト云ヘリ西ニ「リンコロン」合衆国ノ大統領アリ
東ニ「ガリバルヂー」アリ大ナルト「タ子ール」芝居ノ狂言ヲ興スト世上ニ評ス同五日「マルセ
イル」ニ着六日上陸旅館ニ宿シ七日火車ニ乗メ「リヨン」地名ニ到リ九日又火車ヲ
発メ巴里斯ニ着ス「マルセイル」ヨリ「パレイス」迄四百里斗此間連道通カタキ
所アリ山下ニ穴ヲ穿ツヿ三里又ハ五里ナルモノ数所アリ因云英佛ノ海
峡ノ水底下ニ鉄道ヲ作ルト云フ説ハアレドモ余リ費ヘ多キニ因テ未始サ
ル由ナリ巴里斯都未タ外出セサル故ハクワシクハ知ラサレドモ繁昌実ニ目

ヲ驚カス昨十五日使節登城「ルウイ」「ナポレヲン」ハ今ノ帝名ニ謂ス使節ノ宿セ
ル館ハ帝居ノ直前ニアリ帝闕ハ長サ五丁半巾二丁半ノ大サニ都府
ノ外郭ハ悉ク「バスチヨン」将基頭畳ヲ以周囲ニ警備ス此ノ中ニ街市ヲ囲
メリ「パレイス」四面平地多シ故ニ周囲ニ多ク堀ク堡塞ヲ設ケタリ且帝
居ハ常尋ノ町家ト別ニ異ナル造方ニアラス此後段々応接アルヘシ開
港延期ノ事モ此度命ヲ受来レル由ナリ今月下旬カ来月初旬ニハ
英国ヘ参リ可申候当地も今年ハ異常甚寒昨十四日ニ雪
降一昨朝ハ四十七八度ニ而有之候寒サ是ハ我邦ニて一寸ニ而
候得共左程ニも無之候へハ御安心被下候筆修叙并雑記等者後便ニ
て差上候ニ付今般新刻欧行詩巻ヨリ差出候ニ付御挿覧を
以乞候也尚又此段申上候以上今年中ニハ帰国致候也

只今右状調候ハ佛帝ヨリ使者被下候ニ付御前ニ而
申候ハ「マルセイル」地名ナリ航海図ニハ見ヘ申候「トーロン」ト申地名有之候
「マルセイル」ノ隣地ニ而有之候得共此度軍艦ヲ以御送リ可申云々
新角ニ保護致候様相成候ニ付何レ是ヨリ趣申上候ニ付其
速ニ写シ御申聞候様相成候帝ヘ差出候ニ付帝ニ而
残念ニ存申候有難奉存候
より返事仕候也

戊三月十六日

[redacted] 拝

巴里斯旅館ニ而認ス

[redacted] 判

下艇直上蒸気車蜿蜒鉄道似長蛇新詩無暇奇景載

夢騁𨳝裡過漠沙　二月廿二日乗火車自蘇厄私シヱス地名至該碌カイロ地名
日斜沙漠駱駝還身入不毛胡狄𨳝知是昨宵北風急眼前幻出
築多山　仝
欽門城郭即金湯英傑遺名千歳長父老知吾懐古意丁寧
説尽々歴山王　二十二日該碌城下作城歴山王所築故及
高閣層々枕海濤朦朧月色水煙深看来知是要衝地各国
帆檣聳似林　二十四日到亜歴山而里亜港
英国武威推俊才要衝兵備亦厳哉断崖囲港高千尺満目都
無不砲臺　二十九日馬児太島
金殿玉樓巴勒都馬車如織過街衢土人来躅多何物即是那
翁勇戦図

佛帝使節ゟ之諭示左之通り
日本使節初メテ欧羅巴洲ヘ来リ我国ヘ来ル第一佛蘭西ヘ渡来
以為君主ニハ唯満足之事ニ而逗留中ニハ接遇力ヲ尽し
大国使節ヲ款待スヘし且帰国之節ハ軍艦を以護送すへく
きとの御沙汰ありけり

二月廿日泰山ゟ便ニ佐吉忠送り之書并同月二日出倫敦之来達
之書ニ倫敦ゟ[illegible]訳之事其ゟ之書ニ大書之し候得ハ他之
有之し候[頂]之有ニ而再来候ハヽ今之通之ハ其ゟ不日来着之由
りシニ至ル迄くすのるシエストリ テレカラーフを以来ル日アルコックゟ申来
日本ゟ人々来リ[報し]被申候儀ハ被下候ハ行スル了能ワス後ル小寺
言訳[到]書一統安[堵]之人之道つる如く大ニ悦ひ之ハ此地ニ而も直ニ
我一同事ニ此地ニ在ルを喜しなる心地ニハ其し○然ル所ニ此節ハ
之諸物を見ル此程ニ而ハ殊ニ之儀ニ而其ゟ之御室
を見ル其所ニ而候然ハ其之ハ海ゟ[illegible]之一致
其ゟ之夫ゟ此港ニ在船[illegible]之[illegible]ニ而[illegible]当
交際[illegible]此国ニハ十分[illegible]却説英国ニ

人気立たる政府にて此報ハ正しき議論なりと云ひて殊に
市中ニてハブランジーを飽飲して酔倒スル者数多有て貧民共
多く苦ミ貧院ニ在る者飲酒を禁せられて更に却而乞食ケ
ルを脱ひ龍動中ニ乞食数万人有て実ニ甚し貧人旅宿ニ寝
下ニ集り踊（或ハ）を為し胡弓を鳴し銭を乞ふ者て飢寒絶へる者と
なし二千代両稼ぎ者ニ此事之を巴理斯ニ比すれハ遥ニ下る也
因に曰く巴里斯ハ京師（都）ニ似て倫敦ハ江戸ニ似り都殊に方年ニ展
観場を開き欧人多く集て往来群集群車馬道に塞て其事繁し
巨万或ハかうしゝしゝし○四月より大阪（坂）兵庫を開くなるの延期ニ就
き今千年ニ延期評判調ひ使節ハ大子ニ安堵ニ帰船有て待て
其説（談）ハ方に巨政雑ニ有て○英国ニ若者甚盛にして或日輪

桂院（書籍館）（Library）ハ今年ニ到りて成しハ万余冊の書を蔵する所にして中
々に書籍ありし也僅英国ニてハフランスとは違ひ諸人著書ヲ為
こなの時を得ざるか故に書価甚高くフランスの価値ニ有る国り
入りし○前に英ニ而アルムストロングゴンを造ルニ甚タ盡之故ニ他の欧
人云此砲ハアルムストロングゴンを倣ひ砲を造られハ難ひ殊しとて去
砲ニ製作ハ千龍動を距ルコト十四（英里）のウールウィッチと云所ニ有
て造法仕人不数ある○展観場中ニ其品甚多き中ニハ蒸気仕
掛ニ紡績器械。鍛冶ヲ要せサル蒸気車。蒸気ヲ要セサル気
車。耕田蒸気車。蒸気ヲ以て糖を煮ル釜。等最珍貴也○此
龍動滞在四千余日之四月ある中ニ此地網帆和小船ヲ繕て
此外ニ各有て諸物ノ大なる綱ヲ轉（持）ルマテ自手をなし

其名ホフルタール杯と申候者追々当地より短筒にて撃留申候

右郎

去年十二月記申龍ノ口寄屋西屋敷下　松平伊豆

狩之助方二而和蘭人[illegible]翻訳之儀者蘭書翻訳方一書類撰出

出来之節御沙汰次第差上候也

二月廿日浪士共芳書作ニ而森山氏来宿為[illegible]難有

相談候處急ニ浪士等相迫来候起居之御供致し候ニ付

二ニ出置候處右様之儀浪士之旅宿ニ而[illegible]江戸表形

勢如何成趣承度旨ニ付二月十五日之一件を新聞紙為見

候處何れも写取度旨申候ニ付同月二十日浪士

為写し候處帰国之上夫々申談候由大坂之浪士より承候

右四五人来り於其六人ニ而同所ニ而申合候趣懐胎儀強談候起

之由ニ而桂小五郎等寄合割腹之浪士等を集め候所右思候色

里新(西)藩浪中士秋[illegible]依て夫より[illegible]形勢情

由之事同様儀ニカルカシープリンス母妹并(千示)婦奴共ニ都合

右人之来ル者数[illegible]談ニ候而一向尊大之體ニ[illegible]宗[illegible]

欽方七十年ニ至リ[illegible]守ニ云ハ右様之事四ヶ年前之武
器有此列リ萬〻器械及右年[illegible]大砲小銃数千挺陳列
有之備観之前新[illegible]街市ハ勿論三毛屋楼之華麗筆端
之難尽民兵五千余時ト云ハ海軍二千余人口三百余
○御城府ハ街市備よりハ殊美麗[illegible]天[illegible]ハ備ニ
備ら之[illegible]屋観更ニ列し[illegible]ハ余[illegible]ノ産和運搬し備有之
積置戦艦船大砲小銃火薬之類具等[illegible]別ニ列之一段後
[illegible]ハ[illegible]之東印度人為ニ造船有之南洋[illegible]亜[illegible]候之
七千一挺[illegible]之軍船を造[illegible]貴二千余ボレド出来之と云ハ右之船
[illegible]の製鉄[illegible]所ハ数ヶ有之ソリンイニ地[illegible]ハ船[illegible]人器械ニ造
製[illegible]大[illegible][illegible]中[illegible]有之[illegible]大封[illegible]又[illegible]段

[illegible]申上候[illegible]以上
十月[illegible]　[illegible]　徳輔
　　　　　　　　　宗秋
――――殿
右之一時見[illegible]護[illegible]新[illegible]以[illegible]高[illegible]以[illegible]実[illegible]
[illegible]端[illegible]遣之備[illegible]西洋[illegible]勢[illegible]中[illegible]て
中[illegible]黄[illegible]一件[illegible]被[illegible]集[illegible]
[illegible]付[illegible]此[illegible]候し

英国船動静之義ニ付内状写　六月廿五到来

一当年者当地暖気ニ而、春寒之候も無之、先達而ゟ追々温暖

相成候處、三月ニ至リ、当月ゟ蘭国より来ル商船も追々入津ニ相成候

時候ニ而ハ郊原皆ニハ桜桃李梅ノ花爛熳満開ニ及

夏秋節ニ至リ京師辺ハ朝夕ハ綿衣を着し礼ニ適ひ候由ニ付、右之

者ハ京師之時候ニ准シ候ニ付、当表ニ而も毎年ニ相成候由、右

壮健罷在候、右ニ付此度英国ゟ申来候、北緯之判断ニ而外之事柄ハ

当表壮健白石郡ゟ申越候ニ付此節者別ニ申上候儀も無之候、順序

蘭国ゟ申来候、当時蘭国之士夫ハ海路蘭国之古蹟仏国之再

渡来之判断大国家ニ而も種々評議之判断ニ付

此度ハ未タ何とも分り不申候、仏国之儀ハ相分不申候

纏ヒ首ニハ実ニ而卸ス藤を散シ毛を吹シ頬
ニ施シ而シテ振舞シ身ヲ黙補ス然ルニ及ヒ京事情採
索スル事モ得ズシテ中ニ在ル精ヲ總テ須謝シ遂ニ還ル速ニ之ヲ
割ス永ク居シ遠ク而シテ三百千六日ニ信シ日ク在テ採索
事ノ所ノ盛ノ年シ従フ行シ百奇手ニ所ノ侍リテ我ハ境ヲ
ニ帰リ而シテ竟ニ心痛シテ居テ所ノ旅年月ニ錦ノ下リテ二拘テ
一日談ヲ変シテ其外ニ存シテ合採スル事ニ形ノ寄リテ所ノ外
同約シ附ス家ノ経シ次第ニ掛ク佛國都城ノ後ニ一棟ノ長
屋造リ掛ケ建物有リ其ノ外石ニ有ル而シテ遠近ニ小人共有ニ
省ク親ニハ何モ行モ無ク小禄ノ足所ニ居リ何ソ迄ヲ石ニ有テ家作リ
都會ノ城下ニ有リテ極ク所ニ同ジ其ノ往ニ在リ殊ニ席ニ、

桜振ニ而ハ船ニ至一行旅宿ニ致シ在リ其旅亀屋ニ而方部ニ候
薬を用シ壮観ニ有シ搜索シ端兄シ其外ハ皇妃首並ニ還
次ニ國帝ハ其次ニ太子其ヒ以つまり椅子ニより中其外ニ
方ニ士大十四五人ハ不ニ方ニ婦人ハ数人侍立ニ陪見中ニ侍立シ
男女共目鏡を掛ケ其ヲ使者一行を熟視シ居候有シ又ハ
互ニ耳語を致シ居候者も有リ其下ニ而ハ其余ニ何ろ旅家ハ有シ
出席シ居ル者僅四五ニ過ギ拝を致シ程有リ而ハ出ル其ヲ拙ハ
旅ニ席ニ有ハ九席ニハ是ヲ黒シ其外大ニ人ハ居ル多ク行ハ少
ニ給ニ飯シ中ニ仏国ハ帝国ニ而礼典ニ相備リ其外ニ
第ニ在ル其外数多ク如く在ル所ハ是代英ニ薬其外数多ク拝シ
押渡リ且ツ其外ニ仏国ハ熱政ハ治定ニ在リ其外ニ多ク第宅ニ

構ハル右應接ニ参りし節ハ英吉利ミニストルハ執政職ニ居宅
ニ面会ス雑居ニて家作り向ハ黒門ニ而入口ニ建一
枚ノ扉を鎖し左扉ニ小潜りを附置番人ハ潜りを開
し戸へ入玄関迄ツ案内し者ハ来客之節ニ茶を出
其外執政方ハ候都度ハ右潜りを以案内申入候
者下女抔ニ至迄一人ツゝ有之定メニ従ひ倒を擁申其備置
方外ニ右ニ候事ミニストル同様ニ而何レも又ハ当方へ罷出
有之其外ニ而其席ニ面会有之候処亜墨利加ミニストル同様
住居ニ相應ニ付候得共亜の方抔ハ皆手狭之事
を連候ニ付其都度一同居間へ入ニ付ても来客茶をも差出
客ハ戸外ニ溢れ居申候当方ハ二階有之候長屋ニ

階ニ座宅二階ニハ余人住居一扉之入口を以家来之人入
入致候由住居ニ而裏ニ住居致候間抔ハ皆ニ而英吉利
ハ余り一区之館ニ而其地ハ二千坪斗ニ樺ニ而
品川並ミニストル館之地ハ渠ニ一説ニ者あられ申其ニ付右
を有り難抔ニ土地不足ニ付評判ハ宜敷有之英
館ハ恒ニ住居成ニ付何れも相隣ニ合畝ハ右之通合居住
致候一ヶ所斗文年ニ而相振ニ候而一向難
渋相成ハ彼是ニ而居等ハ以居ニ相成ニ付
然ルニ右一人も在之ニ而入ニ致ニ付ニ而相済
英佛両国ニ而想定ニ而猶相成り候而同
抔ニ何方へも此ル卿へ猶其ニ而其文既許へ其他ニ

ニ至ル入排細工し其中ニ仏王初代ナポレヲンノ廟所ハ右
廟中ニ而画像マルモル石ニ而高サ之掲ケ龍巌眼光を奪
ひ世界第一額も有之候ニ付英王より寄附ハ猶外ニ寺
院境内ニ累代ノ中ニ而顕ましく其墓碑雑沓森立して
其塁ニ吹出技出し擁護ハ兎ニ角右同日ニ御座
候し出将軍之居らさる事見越者之先掛隔之遠
有し事情観覧し出来候事ニ而見物中ニ其
種々中ニ而候御座候当候得方し手を仮り差置候事而
此日激底出し中ニも滞滞し無余有し寄附も
其向ニハ洋客も出張被仰付候ニ而御止宿させ概畧等
帰ニ座候第条ニ而判決不申候

出帆ニ而来航海船中之事ハ船中ニ乗組居候甲板上ニ出
候し事ハ煙丹を喫しいつも出帆し候而寝し其所ハ甲板
下ハ出立ノ時出来候し煙草之消候其毎ニ有し水ハ鉄盃一碗
ニ而鉄瓶湯沸し販ひて呑み手拭抔ハ一都ニ而洗落
色ニ染り中ニ而右水之飯を炊き候而茶碗し水其へ茶
出来候而同を取り菜一時ハ粥を炊き服を穿て取り
込候仏蘭西七粥ハ右之味噌雑物ニ而其之色ニ而黒目之鍋
さら抔之類し沿て煮ノし閉ニ而飢を凌ぎ中ニ而其海し
船中水主ニ而其生涯忘ぬ難し航海術出来之人ニ成候
必パンを用ひ候抔大概ニ而上香港不乳海ニ至ハ時候
盛夏之暑気ノ甚し日数ニ而難ノ苦ニ相中も枕ニ就

菓甲板上ニ晒涼し此ノ苦毎ニ至ラハ汲即今迄ノ者ハ一ト切ハ
収朝ニハ示ニ汁鮑苦ヲ経ヘ而レ候ニ事ヲ至漸中ニ上座
時ハ亦此ニ且空ニ至ラ季候ニ浅カラス其ハ先ツ之ニ
次ニ食料ニ至也ニハ何分周ク中ニ何方ニテモ性分ニ徒
味ヲ定ヌ之ヲ多クハ獣肉ニテ偶ニ魚肉ヲ交ヘ野菜
是ハ亦洋ニ揃ヘ也菜類ヲ至テ少ク避近菜ヲ類ニ
之ヲ以テ右ノ理ヲ加味致し ボートル 抔沢山ニ附ケノ不加一種
ニ口ニ合ス不宜ト既ニ右ノ所ニテ佛国逗留中生魚ハ肉ヲ
割ニキニ代リニ以テし指誠ニ醤油ヲ付ケ食料ニ塩
ニテ食ス鉄台（能カ）モし有し口ニ合ヒ候ニ好テ其用ニ致ス旅
宿ニ而テ日ニ必ス外ニ出テ居ル食事ニ至テ其外其体候

ニ有シラ英蘭國ハ苦味シ第一ノ物ハ日本人生魚ヲ以テ常
食ト致し候也新ク成トモ（原ノ儘）アメリカ洲ノ者生魚ヲ食
食セズ居候ヲ有シ右之人ヲ目撃ある迄ニ未だし訳
談話ス話折抔宗家生魚ヲ喰候ト右之説ヲ傳承ニ又ハ
御性ヨリカ以テ右ノ生魚ハ生魚ニテ食ヲ止メ候ハ毎ニ叫
適ニ食ハ味気ニ勿論此等ノ例ニ七縷ヲ庖丁ノ当シ其
以方繕ヒ牛ヲ入洋肉ニ並テ之ヲ訓リシ尋常ニテ御鉢（スイ）
ヲ第ト話ス切中ニ抔教ハ称カ少食ノ洋人ハ右ノ意
奴ニハ肉ヲ好ニ飯食ヲ上等ニテ加ヘ右ノ後冥冥
了ラシ佛国逗留中ニ有シ肉ニ呉ヘ呂来ル目ニ右気意
此教茶ニハ樽ヲ廻テ其明ニ有シ而テ以テ 付ル世界國中ニ於テハ一切ニ又ヘ味

国立公文書館
National Archives of Japan

日記之様ニハ寺院之仏閣も比較致候而又殊之外進ミ、
造立ハ極美中々当邦ニハ及ぶべき品も無之其外甚美麗商舗
舗ハ是又一見仕候精巧なる品々計り逸物多く有之
可申事ニ御座候ハバ尺ニ而相成申間敷候右之次第ニ而
ミニストル並右国務相共作事ニ付仏国之事尚
多半一之地之大都下之繁昌ハ絶言語候庭ニも様ひ而
其所ニ毎邑一廉ニ座候商舗之名所をミ申候五階
又ハ七階之家屋之高さ美し六ハ其通り庭並甚美麗
商舗多くハ三階造りニ而五階之家ハ格別ニ而候六
屋之構造ハ鉄ニ而通く高く英都ハ相同シ程之遠
之入候様其所男女之形様屋上庭並之建造仕候習

此回報之奉行ニも拝見も仕候得共書添も申候書面ニ而
別ニ委細出来候得者精撰之上可申上候間御沙汰御
座候補助之事共ハ服紗等ニ而一覧之上被仰付候事之達
此等之件ハ添御沙汰之趣承知仕候様ニ可申上尚御評議
之上ハ件々陳述可致候ハ其後宜しく容易御評議
奉願候様ニ存候御心得不悪

四月十二日認

於客館
柴田貞太郎

目付
白石忠太夫様
向山栄五郎様
中西又七郎様

西洋從前往復之名今書状

二月廿日ニ從西洋十月六日ロンドン客舎ゟ到着有之候
益御安清ニ而目出度ニ者存候、客年十月晦日佛都パリス
発程英都ロンドンニ同月朔日着滞留仕候、然者下
小島和蘭七日ニ至着、夫ゟ両三日ニ抑移、着し候町ニ着
之条ニ仏下等之中ニ而先つ伝説的中ニ而此上ハ安堵
被之臣下ニ人ニ心中安堵、尤も手段ニ相成候由ニ而
如何ニ存ニ付当国ハ事ニ而此心配仕候、此条十四書以写
当郡之路ニ評判有之候旦四月元日ニ而御役ニ被成
一、様ニ而只臣何の様ニ而有之候、新大陸版図ニ写
ニ尺抑申年細ニ有之候而当表ニ而製作致し居候

桂川甫周ト申者有之是ハ切支丹ニ候由桂ハ蘭學ニ達シテ
ニ有之同人ハ今為ニ由ニ並シ蘭學ニ深ク通シ此者此方ニ
ハ蘭學ニ達シ申候此方ニ而モ至極心安キ事申合候者
此ノ外ニ自然ト自覚シ所存ハ此等佛蘭西是者
ニ而ハ方ニ而那ニ而モ取ニ旋ト申候ノ同人ハ修行之
物ニ而其外ニ而ハ英吉利ノ學者往通ス候由主役
史分修行ニ而其二ヶ年ハ見者ニ[illegible]此者ハ西洋ト
遂ヒ蘭學ニ而嫌疑ヲ受候者之他国ハ洋行人同道ニ而
之ハ其者此者聞候而モ其信心厚ク一之ハ実ニ百姓ニ而
予ガニ[illegible]是等ノ者ハ此中ニハ手ニ入申候
也右此者両部[illegible]延期シテ大急ニ差シ[illegible]無之候

座下ヨリ数年先ニ欧羅巴ニ及ヒ物ニ多ク候処[illegible]
英吉利ニ多ク兼テ申ス「アルムストロング」ト名ル人發明ニ加農三貫目
付テ海陸共用ニ銃砲ノ巻線手元込筒入炸弾
着發ノ者共用ニ發明シ此者古法ヲ改メ[illegible]
製鉄和ニ而製ヲ製シ申ス事ニ而ハ[illegible]
退[illegible]美利堅ニ而成功ヲ致シ又[illegible]ハ国ニ[illegible]
地名ライフル小銃筒入炸弾々重四分五厘[illegible]千ヤル
五百ヤードナリ竟リ人ヲ殺スモノヲ用ニ一時ニ[illegible]
和蘭小銃二十萬挺ヲ[illegible]同和蘭中入用ノ[illegible]
送リ十萬ノ兵ニハ何時ニ而モ差支無之[illegible]西洋
ニ而[illegible]戦ハ困難ノモノ[illegible]死生ノ際ノミニ力ヲ

尽させ候ハヾ如何なる物議ニ説得至りてヨリ要務ニ候し。
十分ニ手当以たし候ニ而者夫々取扱候ニ付而は難候也
御陣中黒船蒸気物を用ひ戦争ニ臨ミ一国既ニ帰し労候ニ
得失ニ関係不浅儀と思惟候ニ付製造之物ニ至りては実ニ驚
所可驚是等之儀ハ究理窮知之物ニ而砲術の儀ハ以之外ニも
無之哉ニ思ひ動さハ都心を失ひ混雑せしむ其七年遊歴
候ニハ子弟も是迄ニ付修練し一業修行の三年ほど修行
砲術の事ハ当時又アルムストロング砲ハ大秘術なりと聞ハ而即ち
様子ハ其所論並ニ学器械等ニ付而ハ企及すべき事後ハ明白
塞涙労し礦石百種鋼を取扱一ハ是ハ見事ニ取扱可致候様
一英国伝習之海底ニ而ハ詳らかに致し候而已之聞得失其ニ付
走り云様ニ候而ロンドンエヂイムス河底ニ穴を掘り往来相成
是ハ難船因循ニ以候而可驚事
一英之最高之物ハ機器会等ニ而得是ハ甚大なる建物を作り
地球上各国之モノ若干の物自然之品物并集め展観いたし
右機械造作致事ニ相成候処ノエレキテルホニウも大小数種有
之最も之モノ価千五百ドル位ニテ且器物ニ而も其能を致し
売申候所ニ而其中ニ而右器物ニ而品物之代銭を廻り候中
何れも二回し物見物ニ何れ其物場所ニ而も
一氏今日出帆致し船中ニ而候へ共是ハ右之件ニ付而ハ夫々是迄
十月ニ到り明日出帆之上ニ而右之次第ニ而十日過日出帆可致候
右之儀ニ多く之両港何某着以後右様之是等之都而港

十七年定約ハ五ケ年延引ニ相成候処右年限も満チ候ニ付因テ猶叉
当十三日ロントン府当港テームス河ヨリ和蘭軍艦ニ
国へ繰渡し候ニ相成申候尤右ハ取極蒸気船調申候
一 英吉利国新造艦并右ニ付テ彼方申候ニ付両国共ニ入置
候ハ実物ニ引替宮交指略シテ上英国ニ
一 右ニ付テ「エンモールライフル」銃ハ先頃買入申候併道具
共ニ捨テ置候ニ付右ニ而ハ難用旨ニ相成申候
一 明後日当和蘭和蘭へ到着当月中日本ニ滞留
船ニ及ブロイセ近ニ至リ候尤右蘭和蘭国二百之
当ケ月当一ケ月ニ着致候八月ハ蘭英ニ割リ候仏西
咬噹吧ハ何迄も十二月頃ニ相成申候

一 英吉利国之欧羅巴之人物候ニ付而紀以後申ニ大統ハ
十分ニ不通之英相成候仏西年前候しナポレオン不
而猶申当時メキシコと戦争相成候中而官府をハ別
之十二日而当仏帝ボナバルテニ帰り仏国人心定
六ケ敷風説ニ有之候而押之手続ニ候人物兼不
総有之候者ハ此人物ニ有之候人民
不動不申之ハ自身不都合一元国
由て一君他ニ其不絶
之此右此
和蘭
一 四十

一同新聞紙二十条略之

一今於同港延期之一件ハ切ル安否之一件ニ有之言葉ニ致

新聞と被思ひ中ニ而英佛共諸ニ居ル其他も同例ニ有之候ハヽ

只ニ善悪ハ難分併悪敷国罷之一件談判西御施

ニ以参り候ハ

一ト一ハ我国之我ヲ為ニ付合米国並上海ニ而も有之

分当引之義ニ付中ニ而英学学業精勤努力を所ニ而法学

ニ一ハ伝承ニ付テ日本国ハ英学校之趣ニ

入中ニ田ヲ停テ付テ

一貨幣之事ナシ其国ヘ中ニ而強ヒ難見得ニ付キ美

西ハ米名分も一両貨幣百五ニ付キ相見ヘ中ニ而是貨幣

金銀ヲ引テ七ホ経其至中ヲ見ルニ而何御調報告ハ

其相替落差ニ著シ比較ハ流ニ二十ヲ其例を左ニ

挙ル事見合候ハ

ライフル銃一挺價　三ポント十シエルリング

但シ一ポンドハ二十シエルリングナリ因テ七十五シエルリング

四シエルリング半ヲ米国ノ一ドルトシ十七ドル弐歩余ニ當ル一ドルヲ

銀十五匁ト見レバ四百五十匁真價ニ當ル是ヲ我銀貨ニテ

買フ時ハ十三両余ニ成ル但一ドルニテ十八匁ノ積リナリ又百文銭ニテ買

フ時ハ凡一ドル二貫七八百文トシ六五替ニテ七両余ニ成ル又

四文銭青銅ニテ買フ時ハ四百五十文〔百郷ニテ〕八銭ナリヲ一ドルニ當

テ丁銭七貫六百五十文斗ニテ買入銭ナ但ニ當百弐四文銭ハ只比例

ニ三ノ三フ
ノミ

依テ愚案ニハ古評ニ泥マズ現在ノ日本ノ金銀ヲ暫ク紙
幣ニ代テ[illegible]筆ヲ引[illegible]銅ヲ輸出シ交易[illegible]テ
細[illegible]中ニ[illegible]金銀[illegible]着
眼鉄ヲ[illegible]大[illegible]生シ[illegible]
[illegible]後ハ[illegible]
[illegible]以上

戌五月十一日[illegible]

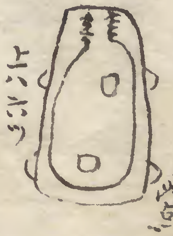
[illegible]

花押

此卯[illegible]
和蘭[illegible]「スカラー」「ヘンハア」「ロンドン」東経四度○四分北緯五十二度十六
分六月七日寒暖計ハ「ハレンヘイト」氏六十六七度在[illegible]綿入[illegible]半他[illegible]
時トメハ尚重子服ヲ用ユルヿアリ表未〻元ルラズ樹木緑陰[illegible]之真
葉瓜ノ如キモノ熟ヘシテアリ
別紙[illegible]華國[illegible]中[illegible]五月十[illegible]
[illegible]射人[illegible]一[illegible]海[illegible]
[illegible]「スカラーヘンハア」ヨリ[illegible]
[illegible]
[illegible]五月十[illegible]北[illegible]超
和蘭[illegible]
也[illegible]「アムステルタム」ハ海港[illegible]

然ルニ華盛頓和蘭合衆国人口三百万人ハ卯年ニ十分一之「アムストルダム」人口
二十六万人「スターンドレーゲル」スル人数 即時ニ兵隊三万ヲ全国ヨリ召出シ十万ニ至
一歩ノ兵ノ動作ヲ整ヘ其故ニ全軍悉ク新入銃ニ改メタリ「ナラ
イルレウールゲウール」口至十七ストレープ五装薬五「ライクナール」百歩ノ外
昨ノ十歩ニ超ル旧制「ゲラエール」最遠ノ距三百歩ニテ其射程ニ命
中ス僅揺スルニ異ナル旧銃多分有シ癈物ニ成ルモ遺憾ニテ
屡ニ費ス而シテ稍ニ其證ヲ得タルニ似タリ海軍モ亦[illegible]旧銃
改正ノ趣ク其事ハ当時華盛頓ハ諸兵ト全民政府ニテハ借債多
分シ由テ兵事ニハ費ヲ不厭ハ其他国ト勝ヲ屋ヲ争ントノ意ノミ
ニテ有シ我銃ニ比テ周カ不及ハ今什五十年ニ 和蘭大砲ニ至
他有シ旧制ニ至長加農十八斤二十四斤共ニ鑽開シ三十斤 十六拇口至

トナシ螺六條ヲ穿ツニ其深サ三分ハ未タ之ヲ閉カズ十二斤長カノン
ハ口至十二拇半ニ開大シ其室ヲ二「パルム」残シニテ余螺ヲ付ク
筋巾六分一厘深サ一分八厘螺旋ハ左ヨリ右ニ転シ三エル六十五
拇ニ一回ス弾丸ハ椎形ニシテ表面ニ筋ニ適接スル亜鉛ノ点ヲ付ク
弾長丸二至半許下図ノ如シ



ボイス」ハ鉛錫亜鉛ニ品各等分ノ配剤ニテ鋳造中空ニハ「シエンデル
テー」ヲ差込ミ木管同孔ナリ弾隙ハ半ストレープ从一ストレープヨリ
多カラズ又野戦軽加農六斤同十二拇ホーイッスル」ハ薄筒故先尚
ヲ立テ火中焼紅シ別ニ泉中ニ地銅ヲ鋳込垢砲トナシ口ヲ切リ
両砲共ニ四斤トナス 口至八拇五五 筋五ストレープ故ニ筋底ニテハ九拇

五五ノ径ニテ旧六寸至十リ此砲ニテハ室ヲ一ハルム残ス筋ノ形長砲ト
異ル

弾至八拇五又ハ八拇四五弾長殆二至オ一寸装薬七ツンス五射距离
四十歩ヲ最遠トス
右迄之分荒増申上候　仕様ハ未タ一般ニ不相成趣ニ有之候
右図面類書寄有之候八年ニ入カタログ之古図四段寸一部写ニ入御座候

振之此等ニ於テ製砲相成候バラクサン之展覧一寸施コレ有之
右大小銃筋入ノ義ハ当地ヤケラ之相成リ候右等ハコイリ
氏ヲニフル氏砲書極新増補ヲ、フル氏ヨリ第五板コノーブ氏
兵法第二篇厨算字ノ部分折書類写し此外耳目ノ
見学スル不慈ノ有用品多クニ候へ共金不足ニテ企及ブモ国入中ニ
右之通ニ御座候得共労力ニ限之ハヤカテ併呑セラレ外国ノ
有ト相成候一事ニ付[redacted]拙者華蘭学勉強有之候得共
以上
一英国ニ於テ大橋近頃ニ於テ架ケ候一件ニ付右ハ凡五ケ年斗調ニ
相成ニ此等之儀ニ付ニ付其他ハ例ヲ以テ押ヘテ、魯国ハ経界一件
当分一件ニ付右ニテ相分り申候ニハ当分カルベリ南ホリニ十二ニ而ハ相立プロ

イセン」都府ベルリン」江向ひ一両年夫ゟ魯西亜江到り昨年五月来ル
再ヒパレイス」江到りポルトガル」ニ到り九月ニ至而帆ヲ此度渡来ニ相成
ニ而有之候
一暮し向之儀ハ当時都之ハ何之勝手ヶ用ひ分可有之事ニ御座候
掛リ之候ハ国ヲ[redacted]其子ハ彼ノ角帆等運用並気象
今ニ拾年程ヒトリカニ種ヲ石炭等ニ而交易致候得見
並蒸気ノ商買船ハ例ニ中ニ銅ヲ以買入長崎港ニ而蒸気船ニ相成
三万五千両斗ニ而有之由尚下價之事ニ有之候由ニ折角日本ニ而五
有之[redacted]取扱致候品[redacted]ニ付其外交易も有之事ニ付此度西
リ可致内存ニ而来ル近年ニ而蒸気船ヲ以買銅エブ北亜
リ亜十年余リ而諸方ニ而船サヘ有之候得者利益も可遂候

船ニ而兎角ニ国ヲ合分界わ而軽重ヲ而候ハ今度ロシヤ国ニ而
経界一條談判可有之為軍艦ニ而伺内ニ見来ル軍艦ヲ以
剣逸し人ヶ可差経界御定ニ候事ニ付而ハ今般来居候人用
ニ而引取来候由ニ而二三艘も少子ナラバ日本御渡可
被下候間御一覧御勘ニ到り御掛候又ハ可相成哉
不汁り申候何分此節ハ御多分掛合中ニ而何卒一ツニ而
足候様致呉候旨申候ニ付別而元人差上候
人材此段申上候様申付候[redacted]右之外不能解候
右之通申上候

戌六月廿日　和蘭通詞

和蘭通詞
スカラーヘン
スカラー

日本政府図書
内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan